

ぼろびて

INTO THE DITCH

作・演出 細川洋平

吉祥寺シアター

2025年 5/21(水)～5/26(月)

藤代太一 / 大石継太 竹井亮介 生越千晴 柴 一平 / 渡辺真起子

Written and directed by Yohei Hosokawa
Kichijoji Theatre

Wednesday, May 21st, 2025 - Monday, May 26th, 2025

Taichi Fujishiro / Keita Oishi / Ryosuke Takei / Chiharu Ogoshi / Ippei Shiba
Makiko Watanabe



ぼろびて

ドロブヘ

INTO THE DITCH

作・演出 細川洋平



藤代太一



大石継太



竹井亮介



生越千晴



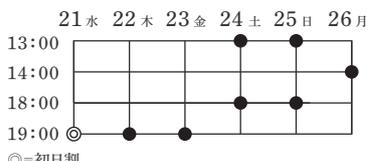
柴 一平



渡辺真起子

2025年 5月21日(水)

5月26日(月)



◎=初日割

※受付開始は開演の45分前。開場は開演の30分前。



吉祥寺シアター

〒180-0004
東京都武蔵野市吉祥寺本町 1-33-22
https://www.musashino.or.jp/k_theatre/
JR 中央線・京王井の頭線吉祥寺駅北口下車 徒歩 5 分



map

次々と投げ捨てていく。そそぎこまれることに慣れてしまった彼らは、接点など必要なかった、ただ音のする方へ集まっていく、その人の子、が帰ってこないとしたかになってからは、もう音を立てないから、こちらを見向きもしなかった、わたしは夜空に浮かぶ星を結んで、子が編もうとした欠片をこの世に降らせようとする、大丈夫、息子のともしびを消した誰かはわたしがかんならず見つけ出す、あふれだすみにくい心、天にゆるしをこごう、あなたはどうか見ないでください、わたしはあきらめません、

チケット(日時指定・整理番号付き自由席) ※税込

一般 前売 5,800円 当日 6,300円
初日割 5,500円 U-25 4,000円
ハンディキャップ割 4,000円 (同伴者1名同額で観劇可)
アルテ友の会 5,000円 (武蔵野文化生涯学習事業団のみ取り扱い)

※開場時刻になりましたら、購入時に発行される整理番号順にご入場いただけます。それ以降は到着順に随時ご入場いただけます。
※ハンディキャップ割のお客様は障がい者手帳をご提示ください。
※車いすでご来場の場合はほろびて制作部までご一報ください。
※U-25 チケットのお客様は受付で年齢確認のできる証明書をご提示ください。
※未就学児はご入場できません。

2025年4月5日(土) 10:00 チケット販売開始

- ローソンチケット (一般、初日割のみ)
(Lコード: 36725)
<https://l-tike.com/horobite/>
- 演劇最強論-ing (一般、初日割のみ)
【手数料無料 チケット代のみご購入可】
<https://www.engekisaikyoron.net/ticket/>
- 武蔵野文化生涯学習事業団チケット予約 (一般、初日割、アルテ友の会のみ)
0422-54-2011 (9:00-22:00)
<https://syk1.ka-ruku.com/musashino-s/showList>
- シバイエンジン
<https://shibai-engine.net/prism/webform.php?d=5h3w628u>



美術：合同会社およくひと 照明：富山貴之 音響：角張正雄 音楽：nujonoto
衣裳：白井梨恵 (モモンガ・コンプレックス) ヘアメイク：山口晃 (Hair Make & Spa Tendo-)
演出助手：櫻井春寿 (NAGORI Ensemble) 稽古場助手：麻生千恵 舞台監督：田中美紗樹 宣伝美術：酒井博子 (coton design)
セーフティ・パウンダリー・キーパー：植松侑子 (合同会社 syuz'gen) ドラマトルク：山崎健太 (y/n)
制作：花澤理恵 (リトル・ジャイアンツ)、飯塚なな子 ((劇)ヤリナゲ)、ほろびて

協力：ディケイド、フロム・ファーストプロダクション、イマジネーション、KYO、モダンスイマーズ、DASH、ダックスープ

提携：公益財団法人 武蔵野文化生涯学習事業団

助成：公益財団法人 セゾン文化財団 / 公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京

主催・企画製作 一般社団法人BOOKSO / ほろびて

ほろびて 細川洋平の作品を中心に上演する演劇カンパニー。不条理劇や超現代口語劇を取り入れた思索劇を展開する。代表作に、分断を様々に描いた『ぼうだあ』(2020)、非暴力と対話への思考を描いた『あでな//いある』(2023) などがある。短編『あるこはく』で第11回せんがわ劇場演劇コンクールグランプリ(2021)。2024年2月、芸劇eyesに参加。1945年のオーストリア・レヒニッツと現代日本を大胆に交差させた『センの夢見る』(東京芸術劇場シアターイースト)を上演した。

Web : <https://horobite.com/>

X : @_horobite Instagram : horobite

お問い合わせ ほろびて制作部 hrbtooiie@gmail.com

リトル・ジャイアンツ 090-8045-2079

ほろびてによる、表現をめぐる思索劇。

見ないでください

踊ることを禁じられた社会で、踊りを志していた青年が命を落とした。その母は彼の部屋に、まだ、いたころの気配がいたるところに残っているから、入ることができない。復讐が終わればあの部屋に入ることができると女は信じている。人目をはばみながら、忍んで実行するのだ。女はしずかに動き出す。その行いをやり遂げるまで、誰にも見られてはならない。「見るな。」